

# ジャズ・ねこ

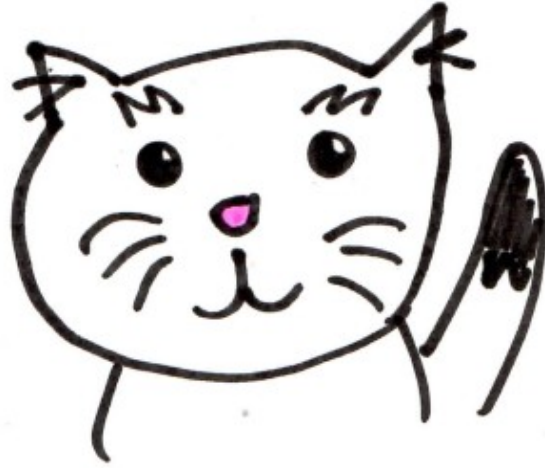


ノーラン・アマンダ



<sup>ねんまえ</sup> <sup>ねこ</sup>  
10年前に猫がいました。

<sup>ねこ</sup> <sup>なまえ</sup>  
その猫の名前はアレックスでした。アレックスは  
<sup>しろ</sup>  
白くてとてもかわいい<sup>ねこ</sup>猫でした。



アレックスはすごいなタレントがありました。そのタレントは音楽おんがくのタレントでした。アレックスは上手じょうずにピアノをひいたり、ギターをひいたり、歌うたったりしました。

アレックスはジャズの歌うたを歌うたうのが大好きだいすでした。

毎日朝まいにちあさから晩ばんまで歌うたいました。「ラーラーラー」



アレックスはちい小さなまち町にす住んでいました。100人にん  
ぐらいしかそのまち町にすんでいませんでした。でも、  
そのちい小さなまち町でもアレックスのうた歌はだい大人にん気でした。  
た。

アレックスは有名<sup>ゆうめい</sup>なジャズアーティストになりた  
かったです。でも、自分の小<sup>じぶん</sup>さな町<sup>ちい</sup>で有名<sup>まち</sup>にな  
れません。アレックスが大人<sup>おとな</sup>になったら、  
ニューヨークに引越<sup>ひっこ</sup>しました。



ニューヨークにつきました!アレックスはすごくう  
れしかったです。こんな大<sup>おお</sup>きな町<sup>まち</sup>に行<sup>い</sup>ったこと

がなかったです。アレックスはすぐに仕事をみつけました。アレックスはジャズバーを見つけた。そこで毎日歌い始めました。みんながアレックスのきれいな歌を聞いて、よろこびました。



毎日、朝早く起きて、ジャズクラブに行く前にレコード・ラベルに行って、自分の歌をマネジャーに出しました。色々な歌を聞かせました。でも、毎日きょひされました。アレックスは毎日ちょっとさびしかったです。

まいにち  
でも、毎日がんばりました。

かげつた  
6ヶ月経ちました。アレックスはどんなにがんばっても、レコード・ラベルにサインをできません  
でした。アレックスはとても<sup>かな</sup>悲しくなりました。  
ニューヨークの<sup>ゆめ</sup>夢が<sup>おも</sup>かなわないと思いました。

アレックスは<sup>かな</sup>悲しくて、もうニューヨークから<sup>で</sup>出て、  
りょうしんのお家に<sup>うち</sup>帰りたくなりました。家に<sup>いえ</sup>帰る<sup>かえ</sup>じゅんびをしはじめました。



ひこうきのチケットを<sup>か</sup>買って、<sup>じぶん</sup>自分のアパートを  
<sup>め</sup>かたづけはじまりました。そろそろ<sup>ちい</sup>小さな<sup>まち</sup>町に  
<sup>かえ</sup>帰る<sup>ひ</sup>日<sup>き</sup>が<sup>かえ</sup>来<sup>まえ</sup>ました。帰る<sup>ひ</sup>前<sup>ひ</sup>の日にジャズ・クラ  
ブで<sup>うた</sup>さいごの<sup>うた</sup>歌を歌いました。アレックスの<sup>こえ</sup>声  
はすごくきれいでした。どんなにかなしくても、ア  
レックスはがんばって、すばらしいパフォーマンス  
をしました。

<sup>うた</sup>歌を<sup>うた</sup>歌って、<sup>しゅうりょう</sup>終了しました。ステージからおり  
て、<sup>かえ</sup>うちに帰る<sup>じゅんぴ</sup>じゅんぴをはじめました。でも、<sup>ひと</sup>人  
がアレックスの<sup>まえ</sup>前にきました。その人はレコード・  
ラベルのマネージャーでした。レコード・ラベルの  
マネージャーがアレックスに<sup>い</sup>言いました。『アレク  
スさん、<sup>まいにち</sup>毎日ジャズ・クラブでアレックスさんの  
<sup>うた</sup>歌を<sup>き</sup>聞いていました。』





『アレックスさんがニューヨークから<sup>で</sup>出てうちに  
<sup>かえ</sup>帰るのを<sup>き</sup>聞きました。アレックスさん、<sup>かえ</sup>帰らない  
でください。<sup>わたし</sup>私のレコード・ラベルにサインして  
ください。アレックスさんの<sup>ゆめ</sup>夢は<sup>かな</sup>叶えますよ。<sup>わたし</sup>私  
<sup>いっしょ</sup>と一緒に<sup>おんがく</sup>音楽を<sup>つく</sup>作ってください。よろしくおねが  
いします。』

アレックスさんはびっくりしました。もう<sup>りょうしん</sup>両親の  
<sup>いえ</sup>家に<sup>かえ</sup>帰る日<sup>ひ</sup>が<sup>き</sup>来たけど、これからラベルに入る  
<sup>ひ</sup>日になりました!アレックスさんはすごくうれしく

なりました。レコード・ラベルにサインをするのは  
アレックスの<sup>ゆめ</sup>夢でした。アレックスはレコード・ラ  
ベルのマネジャーに<sup>い</sup>言いました。

<sup>ほんとう</sup>『本当にありがとうございました。これからよろ  
しく<sup>ねが</sup>お願いします。』

アレックスさんはすぐに<sup>はたら</sup>働<sup>はじ</sup>き始めました。<sup>まいにち</sup>毎日  
きれいな<sup>うた</sup>歌をつくって、<sup>うた</sup>歌いました。アレックスは  
<sup>まいにちたの</sup>毎日楽しみました。

アレックスのデビューの<sup>ひ</sup>日がきました。アレック  
スさんは<sup>しんぱい</sup>心配していました。でも、その<sup>しんぱい</sup>心配は  
すぐになくなりました。

<sup>うた</sup>歌をリリースしたら、<sup>だい</sup>大ヒットになりました!みん  
な<sup>うた</sup>はアレックスの歌をききました。アレックスさん  
は<sup>せかい</sup>世界で<sup>ゆうめい</sup>有名な<sup>かしゅ</sup>ジャズ歌手になりました!

せかいじゅう ねこ  
世界中の猫たちはアレックスのおんがくを聞き  
だいにんき  
て、大人気になりました。アレックスさん、ほんと  
におつかれさまでした!